

提出
順番

No.
9

平成 26 年 8 月 29 日
午前・午後 11 時 58 分受領

平成 26 年 8 月 29 日

幕別町議会議長 古 川 稔 様

幕別町議会議員 東口 隆弘



一般質問通告書

次のとおり通告します。

質 問 事 項	質 問 の 要 旨
人口減少、少子化対策に向けた取組について	民間の有識者らで組織する「日本創成会議」の人口問題検討分科会が独自に推計した全国の市町村別人口では、2010年から2040年までの30年間に20代から30代の若年女性が半分以上に減少する自治体「消滅可能性都市」は、全国の約半分に当たる896市町村、十勝では18市町村中13町となることが今年5月に発表された。 この推計では、幕別町は2040年の総人口は2万2,174人、若年女性は1,826人、減少率は32.4%となっている。 国では、1990年の「1.57ショック」を契機に、出生率の低下と子どもの数の減少対策として、仕事と子育ての両立支援など子どもを産み育てやすい環境づくりに取り組んできたが、少子化の傾向に歯止めがなかったとは言えない。 幕別町では、札内地区の宅地開発による転入者の増や、平成24年から実施している定住施策の効果などにより、人口は微増の状況にあるが、人口に占める14歳以下の割合が近隣2町に比較すると低いなど、懸念される材料も少なくない。 今後、将来を見据えた人口減少、少子化対策に向けた具体的なビジョンを掲げ、他自治体との違いを表面に打ち出し、積極的な政策を講じる必要があると思うが、以下の点について伺います。 ①義務教育までの医療費無料化について ②第2子、第3子以降の保育料や給食費の減免など、出生数増加に対する方策について ③不妊症対策について ④子ども・子育て支援新制度の実施に向けた取組内容について

(注) 質問の要旨は、具体的に記載すること。